

会 議 名	平成27年度第4回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成27年3月19日（木）14時から16時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）崎田座長、森委員、中里委員、木原委員、榊中委員、藤野委員、小林委員、岩政委員、小沼委員、荒川委員、佐々木委員、長谷川委員 （欠席者）櫻林委員、島村委員、奥野委員
事 務 局	日山、高島、杉山
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 「中小企業向けオフィスの紙ごみ削減セミナー」開催概要 2. 「会社に保管した備蓄食糧をムダにしないセミナー」開催報告 3. 「聞く・見る・触れる」の4日間 みんなと3Rフォーラム 開催報告 4. ツイッター、ブログ更新件数及びみんなと3Rホームページ閲覧状況 5. 意見交換① 平成26年度の振り返り 6. 意見交換② 平成27年度3R推進行事業の進め方について 7. その他① 段ボールコンポスト講習会（一般向け）について 8. その他② エコライフ・フェア MINATO2015 9. その他③ 平成27年度第1回3R推進行動会議
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 「中小企業向けオフィスの紙ごみ削減セミナー」開催報告 2. 「会社に保管した備蓄食糧をムダにしないセミナー」開催概要 3. 「聞く・見る・触れる」の4日間 みんなと3Rフォーラム 開催報告 4. ツイッター、ブログ更新件数及びみんなと3Rホームページ閲覧状況 5. 今年度の評価と来年度の事業の方向性（案） [参考資料] 1. 「中小企業向けオフィスの紙ごみ削減セミナー」チラシ 2. 「会社に保管した備蓄食糧をムダにしないセミナー」チラシ 3. 「聞く・見る・触れる」の4日間 みんなと3Rフォーラム チラシ 4. 港区3R推進行動会議：平成26年度評価及び平成27年度事業案

主な発言・報告内容

1. 港区挨拶

港区基本計画が平成27年度より6年間という計画で決定した。それに平行して、環境基本計画も平成27年度より向こう6年間で決定し、港区3R推進行動会議から藤野委員が審議会の委員として策定の協力をして頂いた。清掃リサイクルの分野としては、27年度以降も3R活動をより一層加速させていきたいと考えている。

●主な発言

2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京都をはじめ、港区内でも環境意識が高まることが予想される。それに合わせて港区3R推進行動会議では、ごみ減量に関するイベントの企画や情報発信の場として今後も活用していただきたい。

2. 「中小企業向けオフィスの紙ごみ削減ごみセミナー」開催概要

●事務局からの報告

平成26年12月11日（木）に、港区オフィスリサイクルシステムの永田講師による「中小企業向けオフィスの紙ごみ削減セミナー」を、高輪区民センター1階集会室で開催した。

港区では、少量排出のため単独で資源処理業者との契約が困難な中小企業向けに、「みなとエコ・オフィス町内会」と「港区オフィスリサイクルシステム」の2つのリサイクルシステムを提案している。

集客のための広報に力を注いだが、参加者の募集は少なく、応募者は3社4名、参加者が2社3名と少ない結果となった。

今後の課題は、集客を増やすために、商店街の代表の方と連携をとることや、新しい取り組みとして出前講座の開催を検討する。また、産業振興課と事前の協議を踏まえた上で、港区産業観光ネットワークのMINATOあらかると掲載の中小企業ガイド等を活用し、集客に繋げる。さらに、実際にみなとエコ・オフィス町内会やオフィスリサイクルシステムを利用している企業の声を反映するため、利用している企業にも参加を呼びかけシステム向上に繋げるよう取り組んでいきたい。

●主な発言

- ・ 紙ごみの処理コストを削減し、リサイクルできるという仕組みを企業に実感してもらえるような工夫が必要である。
- ・ 商店街の代表との連携は、関心を持たせるために実施すべきである。
- ・ 紙はごみではなく資源であると認識を持ってもらうため、セミナーのタイトルから変えていく必要があるのではないか。

⇒港区では、資源ごみという言葉は一切使用していない。みなとリサイクル清掃事務所

外の各セミナーでも、内容の工夫だけでは集客が難しい現状があり、広報や飛び込みでの営業の際に、関心をもって頂けるタイトル等は有効であると考えている。

3. 「会社に保管した備蓄食糧をムダにしないセミナー」開催報告

●事務局からの説明

2月26日(木)エコプラザで、日本災害食学会 守 真弓(もり まゆみ)氏とセカンドハーベスト・ジャパン チャールズ マクジルトン氏による、食品ロス削減についてのセミナーを開催した。参加者は、40社47名であった。アンケート結果から、セミナーを通してローリングストックやフードバンクについて学ぶことで、約91%の参加者が参考になったと回答いただいた。今後の課題は、チャールズ講師の発表で聞き取りづらい日本語の箇所があったこともあり、伝えたい内容や知りたい内容の要点をまとめた資料を作成することが必要と考えている。

●主な発言

- ・ 備蓄食糧は、企業だけでなく地域団体、施設、集合住宅も同じように存在する。今後はその要望にできる限り応えられるように対象を拡大し、幅広くセミナーの開催を行ってほしい。
- ・ 他区の行事では、ランチタイムで備蓄食糧等を活用しているケースがあった。
- ・ 日本の貧困について、どのように講演で発表していたのか。
⇒日本の高齢者・ホームレス・母子家庭等の層から食糧を購入できない割合を数値化し発表いただいた。
- ・ 日本スーパーマーケット協会がセカンドハーベスト・ジャパンに講演を依頼したことがあり、大手の社長でもフードバンクを知らないことがあった。スーパー等ではフードバンクについて関心が高く、周知が重要であると感じた。
- ・ 備蓄食糧を準備する際に、賞味期限だけでなく栄養や食べやすさ等の消費者目線で考えることが重要だと感じた。
- ・ 備蓄食糧の活用方法として、地域の防災行事等でおみやげや景品として配布した経験がある。事業者が備蓄食糧を有効活用出来る方法を、情報の発信を通して共有できると良い。
- ・ 大使館のイベントの際に、賞味期限が迫っている企業防災の備蓄品を来場者に配布して持ち帰って頂いた経験がある。その際は、来場者にわかるように賞味期限が間近であることを記載したシールを貼り注意を促した。このような有効活用出来る方法や具体的な活用事例等を企業に情報発信していくことが重要であると考えている。

4. 「聞く・見る・触れる」の4日間 みんなと3Rフォーラム 開催報告

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議の今年度の取り組みの総括として、区内の各団体等と協力し3Rに関するイベントを4日間かけて行った。区民や事業者、大学生と連携し3Rに関する様々なイベントを開催することで、集客と3Rの普及啓発を進めることができた。

パネル展示会では、学生が自らパネルの出展を希望し、戸塚まつり準備会（明治学院大学）として新規で一つ追加することができた。戸塚まつり準備会のパネルは、3Rサポーターの紹介もしていただいた。また、アメリカ大使館が今年度から出展しており、来年度以降は他の大使館や民放テレビ局・ラジオ局にも出展の拡大を図りたい。

事業者向けのセミナーを3Rフォーラム期間中に行うことで、パネル展示会の周知にも繋がり、多くの方がパネルを見る機会を創出できた。

戸塚まつり準備会の学生の中には、3Rサポーターに登録している学生もいる。しかし、在学期間は限られているため、次年度の3Rフォーラムには、3Rサポーターとしてパネル展示やその他の協力をしていただく体制を築く必要がある。また、学生ボランティアと意見を交換しながら、学生ボランティア主体のイベントを継続して行えるように、年間のスケジュール等の共有が必要である。

「会社に保管した備蓄食糧をムダにしないセミナー」は、昨年引き続き好評であったため、区内事業者にかかわらず、各地区総合支所の協働推進課と連携をとりながら、町会・自治会の区民にも対象を広げる予定である。

年間を通して様々なイベントを実施してきた中で、次年度以降横の連携をとるために、過去の受講者や3Rサポーターを集め、茶話会等を企画し実施しようと考えている。

●主な発言

- ・ パネル展示は、波型の配置でパネルが見やすく、資料等を合わせて前に配置してよかった。
- ・ 企業向けだけでなく住民向けの備蓄食糧に関するセミナーを開催しても良いと感じた。
⇒各地区総合支所の協働推進課と連携をとりながら、町会・自治会の区民にも対象を広げる予定である。
- ・ 3R漫談は、3Rの知識をさらに深めたい観覧者から見ると内容が初心者向けだと感じた。
- ・ 学生が多くイベントやボランティアとして参加してくれるのは、非常にいいと思う。大学等にボランティア拡大のための周知が必要であり、多くのイベントに参加できるような体制を構築してほしい。

5. ツイッター、ブログ更新件数及びみんなと3Rホームページ閲覧状況

●事務局からの説明

みんなと3Rホームページの閲覧数は、当初（5月）100人以下の数値だったが、平成27年1月以降200人を超え徐々に伸びてきている。ツイッターやブログの更新頻度に関わらず閲覧数がある月もあるため、更新を怠らず最新の情報を掲載することを心がける必要がある。また、3Rフォーラムの参加者の中にも、ホームページをみて参加して下さった方もおられ、今後もイベントの告知等を行っていくことは必要であると考えている。

今年度は、イベントの告知だけでなく、みなと区民まつりで参加者に記載していただいた「家庭でできる3R活動」の集計結果や、段ボールコンポスト講習会に参加して下さった親子の中で、インタビュー調査を行った報告等を掲載した。参加者の声をブログで伝えることで、ホームページを見る側にも楽しみが増え、継続して見ていただける可能性が高いと考えている。今後は、参加者同士の交流の場の一つとしてホームページを運営していくことができれば、さらなる集客にも繋がりイベントへの参加者も増えていくと考えている。また、来年度は、「段ボールコンポスト 土づくり大作戦のきろく」をリニューアルする予定である。

●主な発言

- ・ どれくらいの閲覧数を目標におこなっていたのか。
⇒当初は、100名を目標としており、2月分集計で200名以上の閲覧数を記録したため今後も継続的に伸ばしていけるように努力していきたい。
- ・ 実際のイベント・セミナーの参加者等の具体例を掲載していくと多くの方に関心を持っていただけたと思う。今後も続けてほしい。

6. 意見交換① 平成26年度の振り返り

●事務局からの説明

【平成26年度の取り組み】

港区3R推進行動会議では、平成24年11月に港区3R推進行動計画を改定し、①3R行動推進のための啓発活動の充実、②個々の区民・事業者の3R活動のための行動の充実、③3つの主体間（区民・事業者・区）の協働の促進の3つを基本指針に沿って3Rの普及啓発に取り組んできた。

平成26年度は、3R活動に主体的に取り組む地域の担い手の育成を目指して、様々な取り組みを行った。

【今年度の特筆すべき成果】

- ①段ボールコンポスト講習会を中心とした担い手の育成
- ②学生ボランティアとの継続的な連携（1大学追加）
- ③ホームページ訪問者数の増加

④協力団体等の増加（リユース食器導入団体、パネル展示会の出展団体、学生ボランティア等）

【改善の工夫が必要な課題】

- ①継続的な 3R 活動支援及び情報共有の場の創出
- ②中小企業の実情に即した講習会の実施並びに集客
- ③ 3R サポーター制度の充実及び 3R の担い手の育成
- ④区民と事業者の連携

●主な発言

- ・ 集客数が少ないイベントは、日程・時間帯が影響しているのではないかと。
- ・ 生活パターンを意識してイベント日程を企画すべき。
⇒今後の運営の際に、日程・時間帯を十分に考慮して企画をする。
- ・ 港区全体でどのくらいのごみが排出され、どのくらい削減が必要であるか等の情報をイベントでPRしていくべき。
⇒区もデータを持っているが数値を文字にしてもなかなか理解してもらうのが難しい。しかし、実態をまず知ってもらうということは必要であると考え、PR方法は、少し練って考える必要がある。
- ・ 結果をみると少しずつではあるが前進していると感じている。また、今後も学生等が参加して世代の広がりを重視していくべきである。
- ・ 予算の範囲内でホームページに子供たちの3Rに関する活動をしてもらった日記等を更新できるようなシステムの導入を行うといいのではないかと。子供が利用すると結果、親も閲覧し各イベントのPRになると考える。
- ・ 港区には58か所の商店街があり多くのイベントが開催されている。イベントと併用してパネル展示や周知の協力を得ることで、集客や関心を持ってもらうことに繋がると考える。

7. 意見交換② 平成27年度3R推進事業の進め方について

●事務局からの説明

新規の事業案として5つ考えている。

①「みんなと3R」ホームページに3R サポーター専用ページの開設等

段ボールコンポストの参加者同士の情報交流の場を求める声に参加者からあり、各イベントの参加者や3R サポーター専用のページの開設を考えている。

②大学生によるリユース食器導入プロジェクト

学生ボランティアは、積極的に活動に参加していただいているため、区民まつりや3R フォーラムだけでなく、今後のイベントにも参加して頂けるのではないかと考えている。大

学祭等でリユース食器を連携して導入することを考えている。

③商店街等のイベントでのリユース食器 PR 及び導入

④中小企業のための「紙ごみ削減『出前講座』」

商店街等と連携を強め、啓発のための掲示協力、リユース食器の導入や、出前講座等の実施を考えている。

⑤段ボールコンポスト講習会の講師・サポーター・ヘルプへのインタビュー及び育成

●主な発言

- ・ 予算や集客の問題を踏まえ、今年度実施してきた企画の中で継続して行わないものはあるのか。

⇒現状のイベントの企画で廃止するものの予定はない。

- ・ 町内会や商店街に3Rに対する啓発を行うときは、対面式で情報の発信を行うと効果的だと思う。
- ・ 3Rサポーターになることで、どのようなことができ、どういったメリットに繋がるのか明確でないことがもったいないと感じる。個人のごみの分別や3Rサポーターの活動をホームページで紹介できるような形態を作り、地域内だけでなく全体に向けた活動PRにする方法もある。
- ・ スーパー等でリユース食器を利用してお弁当を販売しているところもある。また、モデル実験として学生にリユース食器を利用してもらい取り組みもある。
- ・ イベントごとに具体的な目標を立て活動できるとより良いイベント・セミナー実施が行えると思う。また、人の集客に関しては、区内の部署同士でも情報共有が必要であると考えている。
- ・ より良い活動の情報をもっと発信してもいいと思う。また、170名いる3Rサポーターがいて活動が周知されていないのが残念である。今後3Rサポーターの皆さんの日々の生活の中の知識をホームページ・動画等で周知できると良いのではないかと。

⇒ホームページに新しく専用ページを設ける際に、ホームページの内容も踏まえ検討する。

8. その他① 段ボールコンポスト講習会（一般向け）について

●事務局からの説明

段ボールコンポスト講習会（一般向け）

平成27年度5月16日（土）13:30～15:30 港区役所本庁舎9階911～913を予定している。

段ボールコンポスト講習会（親子向け）

平成27年7月11日（土）13:30～15:30 エコプラザ1階

を予定している。

9. その他② エコライフ・フェア MINATO2015

●事務局からの説明

エコライフ・フェア MINATO2015

平成27年度5月23日（土）港区立有柄川宮記念公園

ボランティアの時間

10時～12時 中里委員

12時～14時 森委員 木原委員

にご協力いただく。

10. その他③ 平成27年度第1回3R推進行動会議

●次回会議に関して

第1回3R推進行動会議

4月15日（水）14:00～16:00エコプラザ3階

を予定している。